

# 高砂淳二 写真展

## Dear Earth



©Junji Takasago

展覧会名	高砂淳二 写真展 Dear Earth
会期	2020年7月18日(土)～8月30日(日)
休館日	会期中無休
時間	午前9時～午後5時(最終入館は午後4時30分まで)
料金	一般900円、高校生450円、中学生以下無料 ※大学生・専門学生は一般料金となります ※当面の間、団体でのご来館はお控えください
主催	公益財団法人 酒田市美術館
共催	酒田市、酒田市教育委員会
協力	高砂写真事務所
企画協力	M&M Color
本資料に関する 問い合わせ	酒田市美術館 学芸員:武内治子 TEL0234-31-0095 FAX0234-31-0094

## 展覧会概要

海の中から生き物、風景まで、地球全体をフィールドに、自然全体の繋がりや人とのかかわり合いなどをテーマに撮影活動を行い、「ナイトレインボー」を世界で初めて写真集としてまとめた自然写真家、高砂淳二。

ハワイ先住民の智慧を学び、自然写真とともに、自然全体の繋がりや、人と自然との関係、人間の役割などを、さまざまなメディアを通して伝え続けています。

地球各地で撮り下ろした 虹、海、山、空、滝、波、動物、植物、星々と、あらゆる地球自然界の魅力を写した、自然写真界の第一人者、高砂淳二の作品約80点を紹介します。

本展覧会を通して多くの人々が自然の美しさ、大切さを共存できれば幸いです。

## 作家プロフィール

### 高砂淳二／たかさご じゅんじ

写真家。1962年、宮城県石巻市生まれ。

ダイビング専門誌の専属カメラマンを経て1989年に独立。世界中の国々を訪れ、海の中から生き物、虹、風景、星空まで、地球全体をフィールドに撮影活動が続いている。著書は、近著のフォトエッセイ集「光と虹と神話」（山と溪谷社）をはじめ、「PLANET of WATER」（NATIONAL GEOGRAPHIC）、「night rainbow ～祝福の虹」 「ASTRA」 「虹の星」 「夜の虹の向こうへ」 「Children of the Rainbow」 「LIGHT on LIFE」 「free」 「BLUE」 「life」（以上小学館）、「Dear Earth」 「そら色の夢」 「南の夢の海へ」（以上パイインターナショナル）、「クジラの見る夢 ～ジャックマイヨールとの海の日々～」 （共著・七賢出版）ほか多数。ザルツブルグ博物館、東京ミッドタウンフジフィルムスクエア、渋谷パルコ、阪急百貨店、大丸百貨店、コニカミノルタプラザ、Nikon THE GALLERYなど写真展多数開催。

自然のこと、自然と人間の関係、人間の役割などを、トークショーや、テレビ、ラジオ、雑誌などを通して幅広く伝え続けている。

ニコンイメージングジャパン特設サイト 高砂淳二“*The Plane*”シリーズ連載中  
みやぎ絆大使。

展覧会によせて  
作家からの  
メッセージ

生き物を撮るときと同じように、話しかけながら地球を撮りたいと思う。少し心が通じるような気がするからだ。夢中で自然と向き合っているうちに、自分も自然と一つになっているような感じがすることもある。風の動き、太陽が雲から顔を出すタイミングなどが自分のタイミングと合ってくるような、そんな感じだ。また、ふと地球の温かみに触れて心が震えることもある。そんな時、大地に向かってその喜びを伝えようと思う。

僕ら生き物に、当たり前に見える食べものや薬を差し出してくれる地球は、知れば知るほど、ただの“土塊”などではなく、まるで母親のような心ある存在だと感じる。優しい草原、透明な海、神々しい大地などに心が震えるのは、その奥に存在する、そんな心のようなものに触れるからなのだろう。

世界の多くの先住民たちは、地球に語りかけ、愛でて、感謝することが、育ててくれていることへの恩返しになり地球への癒しになる、という。さまざまな自然災害で自然への恐怖や不安が膨らんでしまい、地球との関係がギクシャクしてしまっている今、そんな風に接することが、地球との関係をもう一度取り戻す上で大事になってくるのかもしれない。

それにしても地球は本当に美しい。その美しさを分かち合い、地球の生きた鼓動を一緒に感じていただけたら嬉しく思います。

写真家 高砂淳二

展覧会のみどころ

**東北初開催となる“Dear Earth”！  
世界100か国以上を巡った高砂淳二が写真で紡ぐ  
メッセージ、世界の絶景約80点を紹介。**

高砂淳二が被写体とするのは、多くの生命体が生存する、“地球”です。

「ペンギンたちの楽園」であるフォークランド諸島、アイスランドのスコーガフォスの滝から見えた神秘的なオーロラ、979mの世界最大級の滝「エンジェルホール」など、まさに地球の鼓動を感じる絶景写真を、高砂淳二のコメント付きで一室に公開します。



仲間のいる方に一目散に走るジェンツーペンギン  
撮影場所：フォークランド イギリス領



丘の向こうに、オーロラが現れ始めた。  
撮影場所：スコーガフォス アイスランド

©Junji Takasago

**迫力あるサイズで地球の神秘を楽しめる展覧会。**

本展覧会の作品サイズは最大で2400×1714 (mm)。写真集では味わえない迫力あるサイズで、高砂淳二の世界を堪能できます。展覧会ならではのスケール感をお楽しみください。

**当館初の試み！高砂淳二による作品解説動画を配信！！**

“新しい生活様式”の中で迎える本展覧会は、新型コロナウイルス感染症の感染・拡大防止策を講じた上で行う約3カ月ぶりの特別展となります。まさに当館の“リスタート”となる本展覧会では、作品の魅力を多くの方に知って頂くため、当館オリジナルで高砂淳二による作品解説動画を展示室内で撮影、会期中に当館公式HP等で全3回を順次、配信する予定です。当館初の試みとなります。

報道・広告用画像

画像1～6を報道・広告用にご提供いたします。ご希望の方は下記の使用条件をお読みの上、酒田市美術館までお問合せください。なお、広告用画像は本展覧会に関する情報掲載以外の目的に使用することは出来ません。(個人のブログへの掲載や鑑賞等を目的とする場合にはご提供できません。)

[使用条件]

①報道・広告用画像掲載には、クレジット明記が必要です。

©Junji Takasago

②トリミングはご遠慮ください。

③情報確認のため、お手数ですが校正データを酒田市美術館までお送りください。

以上、ご理解・ご協力のほど、何卒宜しくお願い致します。

1



撮影場所：フォークランド イギリス領

2



撮影場所：スコーガフォス アイスランド

3



撮影場所：ギアナ高地 ベネズエラ

4



撮影場所：ウユニ塩湖 ボリビア

5



撮影場所：グルンダルフィヨルズル アイスランド

6



撮影場所：ラグナコロラダ ボリビア